



NPO日本朗読文化協会

朗読ニュース

2012年晩秋号

2012.8.15 「声に出す平和への祈り」より



「無言館」戦没画学生



献読



ギター奏者 下山亮平さん



朝日新聞に掲載

理事長再任のご挨拶

10年ひと昔と言いますが、NPO日本朗読文化協会もまさに10年を迎え、博品館での「10周年朗読の日」も盛大に終わることが出来ました。名誉会長に瀬戸内寂聴氏を頂きNPO日本朗読文化協会が立ち上がりました。

そして7年がたち加賀美幸子朗読名誉会長となり、事務局も信頼できる事務局長、事務局員を得て、確実に前進してまいりました。その間思い返せば多事多難なこともありました。何とか乗り切り、今は八重洲朗読会、朗読アラカルト、ヒルズサロン朗読会、平和の祈り、コンクール等大きなイベントが継続しております。どれをとっても皆、始めた頃は大変でしたが、それも会員皆様の朗読への熱い思いが、こうして実ってきたものだと思います。例えば八重洲朗読会は初めは7階の読書コーナーでマイクも、音出しも無い、お客様も10数名からでしたが、八重洲ブックセンターの伊澤様がNPO日本朗読文化協会のために8階に今のようなルームを作ってください、毎回大盛況で、素晴らしい朗読会が行われております。このように周りの方々に助けられてNPO日本朗読文化協会の今があるのです。それはNPOという協会の本来あるべき「朗読を通して、社会貢献を」・・・そのために切琢磨磨して、朗読力を上げて行くという姿が、世の共感理解を得られたからこそと思います。朗読を大事にし、会員の方々のために私も出来るだけの力をこの協会にそそぐ思いでおりますので、どうぞこれからもよろしくお願い致します。



理事長 城所 ひとみ

理事就任のご挨拶

今から10数年前、長岡輝子さんが宮沢賢治の詩の朗読をライフワークとしてやっているのをNHK-TVのニュースで拝見し、即座に勤務していたレコード会社で録音を進めました。そこから古典、近代、詩歌、エッセイなどにのこされた、美しい日本語の録音を網羅的に開始して発売を準備しているところに、故・草苺清子さんからNPO法人設立のお話を伺い、第一朗読の日以来、お付き合いを始めさせていただきました。その間、約80点ほどのCD発売に係わってまいりました。その後、会社を退社してからも、朗読の収録企画を続けて今日に至っております。

このたび、図らずも理事を拝命いただきましたが、果たしてお役に立つことが出来るか、心許ない気持ちです。「朗読の日」イベントにおける、運営関係者、ご指導の先生方、また会員の皆様方の献身的なご努力に、心から敬服するものです。

「美しい日本語」は肉声で語られて初めて伝わるものです。言葉は文化の根源です。私は音楽の企画制作が本業ですが、今後、朗読の制作にも邁進していきたいと思っております。

本協会の活動に側面から、少しでも貢献できれば望外の幸せです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



理事 天沼 澄夫

運営委員長就任のご挨拶

何か熱中する物がほしい。12年前に夫を亡くし、空虚な毎日。何か夢中になれる物が欲しいと思っていた時、ひよんな所で朗読の先生と知り合いになり、前から興味があった朗読をすることになりました。朗読の世界は魔境。その難しさに七転八倒しながらも、楽しさ、面白さに魅せられ、どんどん深みに入り、今に至っています。



運営委員長 阿部 俐奈

この、朗読をすることの楽しさ、色々な作品を耳で聞く楽しさ、作品を紐解いていくおもしろさ、また、多くの生き方を作品を通して経験するスリルを多くの方々に知って頂きたい。そのお手伝いが少しでもできればと、今回運営委員長をお引き受けしました。

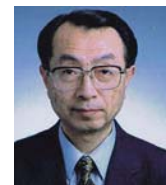
これまでの10年間、協会を引っ張って下さった運営委員の方々はベテラン揃いでしたが、今回は、私を始めフレッシュマンばかり。頼りなく思われることが多いかもしれませんが、その新鮮さを生かして、協会に入って良かった、舞台もボランティアも朗読活動するのが嬉しい、楽しい、と会員の皆様が思えるような協会であるよう、委員一同チームワークよろしく活動していくつもりであります。

どうか温かい目で見守って頂きますよう又、協力要請には積極的に応えて下さいますようよろしくお願い致します。

新運営委員



会員 永井 喜代子



会計・文書管理 菊地 崇之



書記 長野 淳子



事業 小泉 幸子



事業 川口 和代



事業 小黒 三重子



事業 山村 都



事業 河西 和子

第11回『朗読の日』企画について

会員の皆さん！お元気ですか？

今年の「第10回 朗読の日」も無事終了！・・・と思っていたら、もう来年の「第11回 朗読の日」の企画を考える季節となりました。

第11回も演出させていただくことになりました。よろしく願います。



飯田 輝雄

10年一区切り！11回は心機一転、又新たなスタートの心構えで舞台作りができればと考えています。読み手だけでなく、聞きに来た方々にも存分に楽しんでいただける公演をと思っています。

今回は文学の歴史に残る有名作家、作品、又現代の人気作家や作品などを増やし、これに長年続けてきた「60歳のラブレター」や、今年好評だった「三行ラブレター」や加賀美幸子教室の朗読作品、詩集や震災関連の作品など・・・（「朗読アラカルト」からの選抜作品も加えて）バラエティに富んだステージにできたと考えています。

明るく楽しい作品、感動的な作品大歓迎！・・・素敵な作品を選んでください。皆さんと楽しく「第11回 朗読の日」の博品館での舞台、作りましょう。まだまだ先のことだと思っていると、油断禁物・・・さあ、これから大変です。がんばりましょう！

ボランティアグループ かもめ

代表のことば

「かもめ」が発足した2004年協会創設者の故草苺清子さん、初代表の有賀康子さんと私とで、お台場高齢者センターへ出向き、朗読ボランティアとして月3回訪問を決定。その後、朗読訪問先は5カ所に増え、年間100回。お台場訪問は300回を超えました。現在、協会のイベントの協力は勿論のこと、協会の柱として活動しています。その間に開かれた定例会は100回。私の仕事は、培われた基盤を次の世代にしっかり渡すことです。



田中 邦子

かもめがああ広い海原を悠々と飛翔している・・・そう私たちは更に、和気あいあいとアットホームな会に。何でも話のできる楽しいかもめの会に。やさしさが醸し出した会員の訪問を心から待ち望んでもらいたい。一人一人が人を思い訪問し感謝をし、そして幸せを感じられるかもめのメンバーであってほしいです。



小黒 三重子

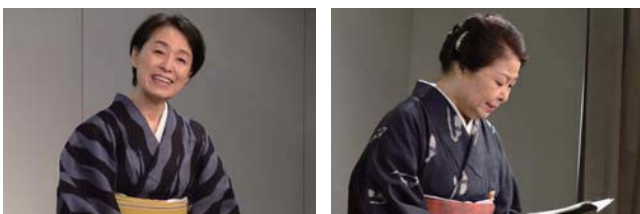
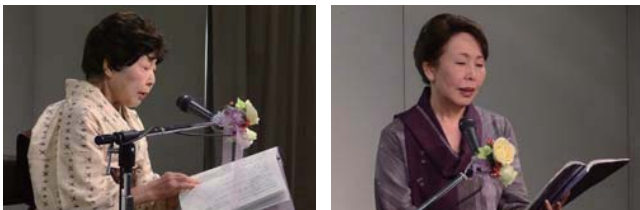
感じています、ボランティアの大切さを。忘れることのできないあの大震災。現地でのボランティア活動の姿が、メディアを通してどれほど世界中を駆け巡ったことでしょうか。自分の出来ることを、出来る時に・・・。

私たち「かもめ」は一人でも多くの方々笑顔が、恋しくて、嬉しくて、何処へでも翔んで参ります。



山村 都

第70回 八重洲朗読会



第6・7回 ヒルズ・サロン朗読会



○ 声に出す平和への祈り



「声に出す平和への祈り」を終えて



山元 智子

八月十五日「声に出す平和への祈り」終了後には、無事責任を果たした安堵と共に、平和の大切さを伝え継ぐ難しさを実感しました。その直後に戦争ジャーナリストの山本美香さんがシリアで銃撃により殺害されたニュースが流れました。

世界の何処かで未だ戦争が起きていますが、メディアによってしか体験できない私達戦争を知らない世代が、一体どの様な形で伝えていけばいいのか歯痒い思いでした。

「突然大切な人を失うのは災害も紛争も同じ」と山本さんが報道した様に、戦争と自然災害は同じ不安を人々に与えています。

今後の災害を推測すれば不安の中の平和などあり得ないと感じました。戦争の記憶は日々薄れていくが、過去の体験を声にし表現していく事で少しでも風化を緩められたら、将来への責任の一端を荷った事になる。

遣り残した事は何か。何を伝え何を伝えられなかったか。一人一人が「死」に真摯に向き合った時答が出るのだと思いました。

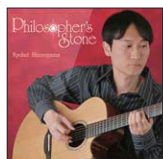
「平和の尊さ」を若い世代が継承する



港区立青山中学校長
渡邊 常次

本校の代表生徒が「声に出す平和への祈り～港区平和都市宣言記念朗読会～」に参加させていただいて5回目になると思います。昨年度は「表参道が燃えた日」を朗読させていただきました。表参道は、本校の学区域で、歴史的にも大変深い関わりのある地域です。今年は、広島戦を描いた「いわたくんのおばあちゃん」を一人一人の生徒が思いを込めて朗読しました。戦争で家族や大切な人をたくさん亡くしたおばあちゃん、人と一緒に写真をとりたくないという悲しい思いといつかおばあちゃんと一緒に写真を撮りたいという孫のいわたくんの希望を描いたお話です。生徒たちが絵本を読んでいる様子は、朝日新聞でもご紹介いただきました。生徒たちにとっては、平和に対する思いを深める事ができたと思います。また、今年度の本校の学芸発表会でも同様に代表生徒がこの絵本を朗読しました。さらに、生徒、保護者や地域の方々にも平和への思いを伝える事ができました。中学生という若い世代が自分なりに、戦争や平和についてさまざまな形で関わり、行動していく事は、つきつめれば人の「命」について考える事であり、大変意義深い事であると思います。これからも、朗読という手法を通して、「平和の尊さ」を継承し、後世に伝えていって欲しいと願っています。

心にしみるギター演奏と語り



ギター奏者
下山 亮平

楽器で音楽を伝える奏者として、まずギター
の音と朗読者の生の声との比較をしてしま
います。

人間の生の声の方が世界観がリアルに伝
わります。朗読の魅力と奥深さを改めて体感で
きました。

会場ではお客様が真剣な眼差しで演奏を
聞いてくれているのが伝わりました。聞き手と
弾き手との一体感があり、朗読の世界と共有
できた1日でした。

新聞に掲載されました



東京新聞

「声に出す平和への祈り」 アンケートより

■ 青山中学「いわたくんちのおばあちゃん」について

- ・青山中学のみなさん。誠に素晴らしかったです。涙が止まりませんでした。
- ・戦争を知らない子どもたちが戦争(原爆)に関する朗読をすることは、素晴らしい事だと感じた。とても上手でした。
- ・中学生らしい素直でかつ心のこもった一人一人による朗読形式が良かった。

■ 吉兼実さんのお話「被爆おばあちゃんへの手紙」について

- ・実体験が胸にしみ入った。85歳でお元気で素晴らしいと思った。この会の事をもっと知りたい。
- ・当時の様子をよく覚えていらして、ご本人の体験ならではの一つ一つの言葉、表現、そして手紙に感動いたしました。
- ・司会者に促されて、少しペースを乱されたのか。あまりに短かったです。高齢の方にはエクス(手紙)部分だけにするとか、プロフィールはインタビュー形式にするなどの配慮が必要かも？

■ 下山亮平さんの「ギター演奏」について

- ・ひとつひとつの音がとても心にしみてきました。朗読もここに迫るものでした。
- ・心を静めてくださる美しい響きの数々でした。アイルランド民謡のダニーボーイ、そして自作の音色いろいろ聞かせていただきMANY THANKS!
- ・デスペラード好きな曲なので聴けてうれしかった。久しぶりに素敵な音楽を聞かせてもらいました。

■ 朗読「無言館戦没画学生『祈りの絵』」について

- ・良い企画です。尊い若い命の無念さをずっしりと感じた。
- ・無言館には行った事なく、いつか訪ねたいと考えておりましたので、その画像を見せてくださる中での朗読、満足致しました。祈りの場であることがよくわかりました。
- ・企画が良い。目で耳で鑑賞できました。個性豊かな朗読者でした。ややBGMのボリュームが高すぎ。

■ 「献読」について

- ・献読という作法を初めて知りました。名も無き戦没者の方々もまた、同様の作法を望んでおられるのではと思いました。
- ・なんと素敵な慰霊の方法だと感銘を受けました。お一人お一人心をこめて。人の声は楽器だと。この方々が亡くなられた日時を拝聴していると、もう少し早く戦争を止めていたならばという思いを深くいたしました。若い命が数多く散っていったのだと！

■ 平和について

- ・絶対に核は不要です。戦争もダメ。地球から核と戦争がすべてなくなりますように。
- ・当たり前のことが幸せなことであり、何が重要か事ある毎に確認して生きていく必要があると思います。
- ・世界の平和は私のライフワークです。ブログをやっています。
- ・行動に表すことが大切だと思います。今、オスプレイの問題、沖縄、憲法第9条についても国会で問題になっています。私たちが知らないうちに平和が危機にさらされていることを敏感に知り、行動することだと思います。

■ 今後この催しとして希望するものは

- ・もう少し観客が多いと良いのに。夏休みの区内小中学生を招待するなど。
- ・素晴らしい企画の数々に感激いたしました。今回が9回目とのこと、ずっとつづけられますように。
- ・関係者以外の参加者があまりに少ない。もっと宣伝するべきです。区は朗読会任せという感じ。区がもっと正面に出てすべき行事です。

「自然体であれ」

小泉 幸子

数年前の朗読会で理事長は「心に染み入るような朗読を」と心に残るお話をされて、又会員の方々の朗読を堪能しました。この日学んだことを目標とし基礎練習に明け暮れた。しかし基礎に気をとられ肝心な事が抜けていた。どの作品も力んでおり映像が出て来ない。ふと手にした金子みすゞの詩を読んでみようと思った。幸いその機会に恵まれ貴重な体験をした。何故か体が軽い。金子みすゞの詩は「自然体であれ」と私に教えてくれたのです。



よ・む、よ・まない

小林 道子

学生時代、先生に進められ「岩波文庫百冊」をひたすら読みました。其の時はドストエフスキーでも夏目漱石でも、全て理解できたように思えましたが、今考えるとあら筋だけを追っていたのかも知れません。朗読を始めてみますと、本を読む楽しみが私個人のものではなくなりました。言葉の持つ意味をより正確に、より深く掘り下げてゆく読書法は、とても新鮮ですが、朗読の難しさ楽しさ恐ろしさも感じている今日この頃です。



作品選びの独り言

林 たのし

ただ只10分以内で読める作品。
選んだ作品は「幽霊滝の伝説」でした。

練習を始めてみて気付いたのは、この作品は短い物語の中に色々な表現要素が多く、どう読むと良いのか悩む所が噴出。特に「滝の中から聞こえる声」は、読む度に声が定まらず、そこで止まってしまう「エーイ。出たところ勝負で読もう！」なんてバカなことを考えている自分がおり、その無謀さにあきれ怖ささえ感じています。



二十四の瞳

小島 憲子

私が小学生時代を送った昭和30年代後半、まだ時間がゆったりと流れていた頃、担任の先生が読み聞かせてくれたお話の数々。その中でも特に印象深く思い出されるのが、壺井栄の「二十四の瞳」です。戦争に否応なく翻弄されながらも、女子先生(おなご先生)と12人の教え子達の心暖まる話に、想像を膨らませながら聞き入ったものでした。その時の貴重な体験が、現在の私が声に出して読むきっかけを作ってくれた原点となっています。



幻燈会の夜

中村 悦子

『幻燈会の夜』昨年暮れ岩手の書店で出会った絵本です。

舞台は、昔から何度も津波の被害に遭っていた岩手県宮古市。題名の「幻燈会」は明治三陸大津波が襲ったまさにその日に行われた玄燈会を楽しみに集まる人々、津波前後の浜の様子などの実話を元に、宮古の小学校教諭花坂徹さんがお話を書きました。

いつか読みたいのですが課題は「宮古弁」宮古は母の故郷なので何度も遊びに行つて耳にしていたはずなのに・・・要実地研修？



本に魅かれて

稲葉 慶子

数年前、趣味のお稽古の一つとして始めた朗読が、今、私の生活の重要な部分を占めている。小さい頃から本が大好きで童話の本をあれこれ買ってもらったのを思い出す。物語への憧れとときめきが、再び人生の後半になって蘇っててきた様である。

これからは、朗読を通して出会った先生や仲間、そして、朗読を愛する人々と共に、一つの目標に向かって歩いて行けたらと思っている。朗読は奥深く、人生も又、奥深い。



＜これから＞2012.12～2013.3			
日時	公演名	場所	出演者名
12月1日	伝える思い・伝わる心	仙台市宮城野区中央市民センター	長野淳子
12月1日	金子みすずの生涯	アビスタホール	近藤とうこ
12月1日	チャペルコンサート クリスマスの本朗読	清瀬市下里しおん保育園チャペル	VoiceK
12月7日	ものがたり図絵 そのⅢ ～江戸～	東京建物八重洲ホール	渡部玲子
12月8日	第6回 椋の会	シティ中野	松本由美子
12月8日	一葉の師・中島歌子の想い	坂戸市大家公民館	田中泰子
12月8日	制作舎 翔 演劇公演(朗読劇)「KIZUNA」	目黒パーシモンホール	三上実枝子・松島邦
12月16日	古事記1300年石山裕雅の会朗読と笛で綴る「岩戸」	渋谷文化総合センター	飯島晶子
12月23日	朗読講座合同発表会	カルチャービレッジ池袋107教室	小金洋子・松島邦・宮内佳代子「教室」
12月20日	夕鶴	スペースOHK(新宿区)	近藤とうこ
12月24日	リーディングカフェ Vol.6	結城・ティールーム月こころ	青木ひろこ
12月24日	クリスマス礼拝 聖書朗読	自由学園明日館講堂	飯島晶子
12月24日	サンクスコンサート	錦糸町トリフォニー小ホール	松島邦
1月12日	耳よりな…朗読会3	千代田区立内幸町ホール	河崎早春
1月12日	リーディングカフェ Vol.7	栃木県立美術館カフェ・つくし	青木ひろこ
1月19日	ニューイヤークンサート「ヴァイオリンと朗読の世界」	丸の内日本工業倶楽部3Fホール	松島邦
1月20日	せ・び・あ朗読会	渋谷宮益坂カフェセピア	稲本由美子・田中邦子
1月26日	ことばを心の窓にして	仙台市大沢市民センター	長野淳子
2月10日	「五重塔」	ハーモニックホール	赤間立枝・稲本由美子・佐々木富紀 柴田純子・田中邦子・山本暁子・渡部玲子
2月11日	「みをつくし料理帖」	ハーモニックホール	小黒三重子・小島憲子・中村宣子・中村美智子
2月19日	にぎりえ	高田馬場ラビネスト	田中泰子
2月22日	第2回 朗読の冬フェスタ2013!	渋谷区文化総合センター大和田伝承ホール	秋山雅子
3月1日	大田区東日本大震災被災地支援コンサート	大田区文化の森	飯島晶子
3月2・9日	「心をはぐくむ絵本力」乳児期～終末期まで	千代田区区役所ホール	赤間立枝
3月31日	成願義夫「桜展」にて ～桜物語あれこれ～	京都 法然院	飯島晶子

○ イベント情報

「平家物語の女たち ～朗読でたどるその生涯～」 加賀美教室受講者 16名が加賀美幸子と出演

日 時：2012年12月8日(土) 11:00～15:00
会 場：千葉市男女共同参画センター “24年度参画センターまつり”
入場料：無料・先着申込順

第6回朗読コンクール (港区文化芸術活動助成事業)

日 時：本選 2013年1月13日(日) 13:00～16:30
会 場：港区立高輪区民センターホール
入場料：無料

第71回八重洲朗読会

日 時：2013年1月19日(土) 16:00～17:30
会 場：八重洲ブックセンター8F
出演者：五十嵐和子、稲本由美子、塩田睦子、望月鏡子
入場料：無料

第8回ヒルズ・サロン朗読会

日 時：2013年1月24日(木)
会 場：ハリウッドビューティプラザ4F
出演者：遠山顕 英語で語る 琵琶語り 小泉八雲「むじな」
田原順子 琵琶語り 田原順子作曲 中勘助「ひばり」
会 費：3000円(スイーツを含む)

会員情報

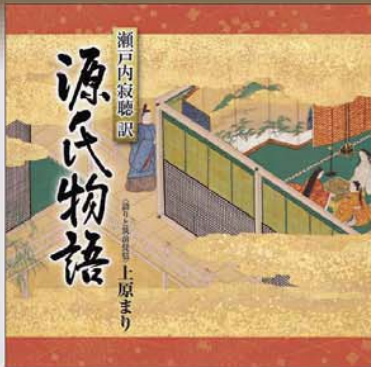
- 2012年8、9、10月下記6名の方が入会されました。
大和田佳佐、小野綾子、先崎仁忠、津崎れい子、村瀬克子、
百瀬由璃絵(学生)(敬称略)
- 事務局からのお知らせ
 - ・「協会の発展を願って」と一般の方より10月31日100万円の寄附がありました。心より感謝申し上げます。用途につきまして理事会・運営委員会にて検討予定しております。
 - ・12月29日(土)～1月6日(月)事務局は年末年始休暇となります。

編集後記

猛暑等すっかり忘れてしまいそうなこの頃、原稿依頼にも熱が入りました。その後、戴いた原稿に目を通す時のわくわく感、そして何人かの原稿が並んだ時の目には見えないけれど紙面全体から醸し出される何か……に惹かれているのです。(佐々木記)

朗読ニュース 2012 年晩秋号 (通巻 32 号) 発行日 2012 年 11 月 30 日
発行 NPO 日本朗読文化協会 理事長 城所ひとみ
〒107-0052 東京都港区赤坂 3-8-8 赤坂フローラルプラザビル 3F
TEL : 03-3584-4451 FAX : 03-3584-4452
e-mail:npo-rodoku@rodoku.org http://www.rodoku.org/

瀬戸内寂聴 訳「源氏物語」



源氏物語 上原まり

瀬戸内寂聴訳

千年前の王朝の世界へ誘います

- ◆ 空蟬・夕顔
■ KICG15070
- ◆ 明石・松風・薄雲
■ KICG15071
- ◆ 若紫(上・下)
■ KICG15072
- ◆ 紅葉賀・花宴
■ KICG15073
- ◆ 葵(上・下)
■ KICG15074
- ◆ 玉鬘(上・下)
■ KICG15075



好評発売中

CD全6タイトル
定価・各2,000円(税込)



源氏物語

瀬戸内寂聴訳

心と心が響きあう朗読の魅力

- 朗読：NPO日本朗読文化協会
宮崎弥生・秋山雅子・岩瀬弥生子
福田雅世・飯島晶子・安倍真壽美
坂本有子・加藤敏子・松島 邦
- ⑤ 若紫
④ 夕顔
③ 空蟬
② 藤壺
① 桐壺
- ⑤ 源氏物語の魅力
(志願) 瀬戸内寂聴
- ③ 六条の御息所
② 臘月夜
① 末摘花

好評発売中

KICG-5068~69
CD2枚組
定価3,000円(税込)

《第42回》日本レコード大賞〔企画賞〕受賞作品!

昔話ふるさとへの旅

21世紀へつなげたい「ふるさとの昔話」。
全国47都道府県を地元の言葉で現地録音。

全47タイトル
好評発売中
各定価 ¥2,000(税込)

「ふるさと」がいろいろあります。
温かく、優しく迎えてくれる。



(CD全47タイトル) ■KICG-3181~3227 ジャケット表紙絵：鈴木ひろえ

市原悦子さんのナレーションで始まる「昔話」。

7年の歳月をかけて現地の語り手によって、生の声を現地収録いたしました。貴重な伝承文化遺産である「昔話」は、大人や子供達にとって大切な「心のふるさと」です。

7年の歳月をかけて現地で収録した全国47都道府県の「ふるさとの昔話」の教々。かつて「昔話」は、子供達への楽しみや教訓、日常生活意識を反映しながら語られて来ましたが、情報文化の発達した今日、「昔話」は大変貴重な日本の伝承文化遺産となっています。このCDでは全国のそれぞれの地域に昔から伝わる「昔話」を中心に、現地の語り手によって地元の言葉で現地収録しました。大人や子供達にとっていつまでも「心のふるさと」として、今後私達の生活の中で育まれていきますことを、心から願っています。



全65タイトル好評発売中!

元々は第五回日本人のこころと品格全10タイトルです

美しいことばと豊かな心

Roudoku Series

朗読CDシリーズ心の本棚

[第一弾] [第二弾]

CD全15タイトル 各¥2,000円(税込) CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)

[第三弾] 日本の詩歌

CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)

[第四弾] 名作を聴く

CD全10タイトル 各¥2,000円(税込) / 2枚組各¥3,500円(税込)

[第五弾] 日本人のこころと品格

CD全10タイトル 各¥2,000円(税込)

詳しい資料をご希望の方は キングレコード株式会社 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 ストラテジックマーケティング本部 制作第二グループ 03-3945-2119

キングレコードの朗読CDはお近くのレコード店で求め下さい。又は下記へ直接お申込み下さい。 ●下記によるご注文の商品の送料(¥600)はお客様のご負担となります。

フリーダイヤル 0120-340-670 インターネット <http://www.kingrecords-eshop.jp> (キングレコード・イー・ショップ)
FAX 03-3945-9086 ハガキ 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 キングレコード(株)内 キングダイレクトアクセス行
KING RECORDS
*キングレコードの情報は <http://www.kingrecords.co.jp>

h/ramaTV